

新羽高校の校長が受検生のために作った新聞

羽ばたきの丘通信

令和5年11月20日 第2号

編集・発行 新羽(にっば)高校校長 勝股 正

特集

なぜ「行ける学校」ではなく 「行きたい学校」なのか

新羽高校の校長が編集・発行する web マガジン「羽ばたきの丘通信」をご覧いただきありがとうございます。

私は、以前務めていた高校でも校長通信を発行していました。

その通信に、「なぜ、『行ける学校』ではなく、『行きたい学校』を選ぶべきなのか」をテーマに書いたことがあります。

校長として、中学生の皆さんにどうしても伝えたいと思っていたことを書いたのですが、学校説明会でも、必ず「高校は、行ける学校を選ばないでください。行きたい学校を選んでください」と言い続けているくらい、現在でも、その思いに変わりはありません。

ただ、この記事は、Web上では読めなくなっています。そこで、今回、再度同じテーマで書いてみたいと思います。

学校説明会の校長の決まり文句

私が、学校説明会で口癖のように言う「高校は、行ける学校を選ばないでください。行きたい学校を選んでください」ということは、元々は、私が尊敬するある校長先生が昔言われていたことばなのですが、実は、これにはしっかりした根拠があるのです。それをこれから説明します。

「縦断調査」 2001年生まれの人の毎年の調査

「**21**世紀出生児縦断調査」という調査があります。**2001**年、つまり**21**世紀の初年に生まれた人を、赤ちゃんのときから毎年アンケート

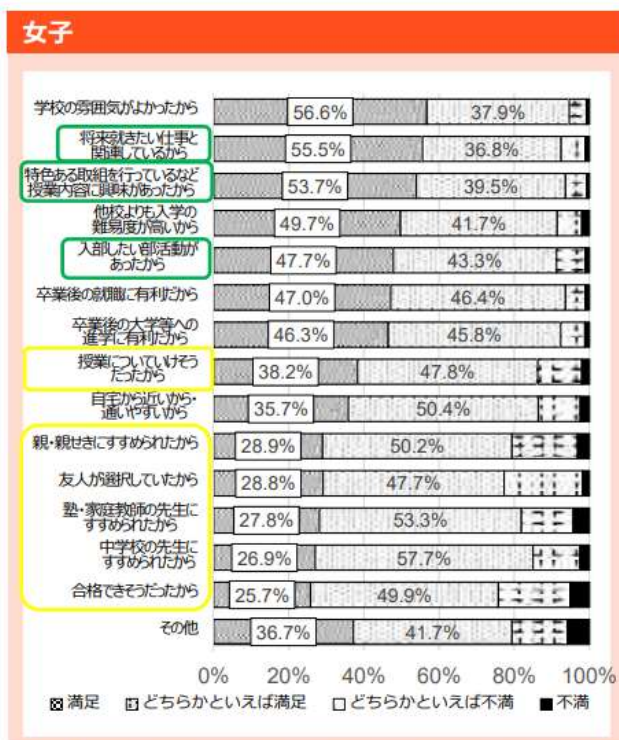
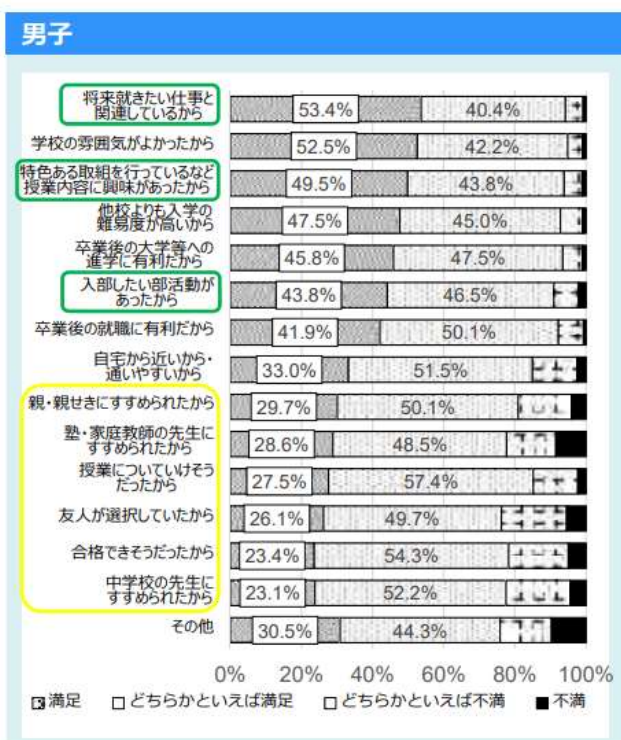
(その保護者への調査も含む) をしていった調査です。

2017年に実施した調査の一部がこれです。

【高校生の現状（高校生の学習意欲・学習時間等の実態）】

在籍する学校を選択した理由 × 進路選択の満足度（縦断調査）

○ 積極的な動機付けにより学校選択を行った者は、進路選択の満足度が高い傾向にある一方で、他者にすすめられた等、他律的な動機付けによる学校選択を行った者は、進路選択の満足度が低い傾向。



(出典) 文部科学省・厚生労働省「第16回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」（平成30年9月） 17

(調査の詳細は[文部科学省のHP](#)に掲載)

2017年のときの調査では、2001年生まれの人は16歳、高校1年生になっていました。

高校1年生になっていた人たちに、その春、入学した高校について、「学校を選択した理由」と「進路選択の満足度」を聞いてみたのです。

すると、学校選択の理由として「学校の雰囲気よかったから」や「特色ある取組を行っているなど授業内容に興味があったから」を選んだ人たちは、49%～56%が自分の進路選択に「満足」（4段階の満足度のうち最上）だと回答したのに対し、「親・親せきに勧められたから」「塾の先生にすすめられたから」「学校の先生にすすめられたから」「合格できそうだったから」などの理由で学校を選択した人たちの「満足」の回答は、いずれも23%～28%と低かったのです。

ここから分かることは、自分でその学校の良さをしっかり認識して、「行きたいな」と思って高校を選んだ人は、入ってからも自分の進路選択への満足度が高かったのに対して、ただ単に人からすすめられたただけだったり、入りやすそうだからというような、いわば消極的な理由だけで高校を選んだ人は、満足度が低くなってしまっていたということです。

自分の目で学校を確かめることが大切

なぜ、満足度に差が出たのでしょうか？ 私は、次のように考えます。

人からすすめられたただけで高校を決めてしまった人は、（たとえば、本当はそれなりに気に入っていたとしても）心のどこかで、「実

は、もっと自分に合った学校が他にあったかもしれない」と心のどこかで思ってしまっているのではないのでしょうか。

だから、満足度が低くなり、「どちらかといえば不満」や「不満」と思う人も多くなるのではないかと思います。

そして、ここが一番大切なことなのですが、入学した学校に対して満足度が高い人は、満足度の低い人よりも、きっとその学校での勉強にもより熱が入って、主体的に勉強に取り組むのではないだろうかということです。

高校は、勉強をするところです。しかも、今、高等学校の学びの課題となっているの

が、「生徒がいかに自ら、主体的に学ぶか」ということなのです。

せっかく高校に入るのですから、主体的に勉強して、充実した高校生活を送ってほしいものです。

私は、約 1,000 日を過ごすことになる高校で、皆さんそれぞれが、前向きに、主体的に勉強に取り組んでもらいたいと思います。

ですから、最初は、人からすすめられた学校だったとしても、必ず、自分の目でその学校のことを確かめ、自分で納得して高校を選ぶことが大切なのだ、と思うのです。

私が、「入れる学校」を選んでではダメで、自分が「行きたい学校」を選んでください、という理由を分かって頂けたと思います。

｜ 学校の特徴をよく見極めて

「行きたい学校」を選ぶ最大の機会が、学校説明会です。

学校説明会で、話を聞いて、疑問に思ったことがあれば、質問をして確かめましょう。

ただ、学校説明会が終了してしまっている場合もあるかもしれません。

そんな方には、新羽高校では公式ホームページで、学校案内デジタルパンフレット、X

(旧ツイッター)などで情報発信をしておりますので、それを見ていただきたいと思います。

｜ 新羽高校のデジタル学校案内

今年度から、新羽高校は、他校に先がけ、
[「学校案内デジタルパンフレット」](#)を作成しました。

「学校案内」といえば、学校説明会等に出向かなくては手に入れることができませんでした。

しかし、この「学校案内デジタルパンフレット」は、居ながらにして、各自のスマホやパソコンで見ることができます。

授業動画や、学校紹介ビデオも見ることができ、大変便利です。是非ご覧ください。

また、[「新羽高校【公式】」X](#)では、新羽高校の最新情報を提供しています。フォローをよろしくお願いします。

編集後記

羽ばたきの丘通信第2号を最後まで読んでいただいていたありがとうございました。「高校はどこも同じ」ではありません。是非、新羽高校の「よさ」や「特色」を知っていただき、本校を志願していただきたいと思います。よろしくお願いします。